

学校の理念

多様性の尊重・学習参加の保障

だれもおいてきぼりにしない学校づくり
子どもが「明日」を語れる学校づくり

学校教育目標

自ら深く考え、心豊かに暮らし合い、未来をしなやかに生きる子の育成

国・県・市の
教育方針

児童・教職員・
保護者・地域の
願い

めざす児童像

自ら深く考える子

自ら問いをもち、深く考え
自分の意志をもち、表現
できる子

心豊かに暮らし合える子

豊かな感性をもち、多様な人と
かかわりながら、自らを高め、自
他ともに大切にできる子

未来をしなやかに生きる子

身に付けた知識・技能を活用して
直面する課題に、適切に対応、
行動できる子

重点目標

授業参加と質の保障

- 基礎・基本的な学力の定着
- 基本的な生活習慣の定着
- 合理的配慮と基礎的環境整備の充実
- ◆授業改革⇒主体的・対話的で深い学び
- つきたい力を明確にした授業づくり
- 体験的、問題解決的な学習の充実
- わかる、楽しい授業の追求

対等で安心できる 人間関係づくり

- すべての教育活動の根底になかまとの豊かで本質的なつながりづくりを据えた教育内容の創造
- 人権感覚を育て、規範意識を高める教育の推進
- 体験活動や言語活動の活性化
- ねらいを明確にした多様な人との交流

かけがえのない生命の自覚と 自己理解の促進

- 自己の健康・安全管理能力の向上
- 体育科、運動遊びを充実させ、体力向上を推進
- 食育の推進
- 命の授業の充実
- 主体的な学びの土台となるキャリア教育の充実
- 性教育の推進

研究主題

子どもたちの好奇心を大切に、自ら考え、行動できる授業改革

家庭・地域・関連機関との連携

教育活動の情報発信（HP・学校だより・保健だより・学年通信等の内容の充実）
地域人材の積極的な活用
大淀養護学校・子ども総合支援センターとの交流
校区再編にかかわる連携

発信と協働

「これまで」にとらわれず、一定の教育方法にかたよらず、思い込みの価値観にこだわらず

- 子どもの資質・能力を引き出し伸ばすために児童理解・教科等の専門性・発達理解を深める教職員
- 専門職としての使命感と実践的指導力をもつ教職員
- 情報を適切に収集・選択・活用する教職員